



あいむら先生の ニカラグアレポート

青年海外協力隊で中米のニカラグアに行っています。



第九号

2008年10月1日発行

①じっしゅう生へのアドバイス



げんざい2年生は自分の出身校でじっしゅう中です。そこで、学校の先生たちがアドバイスのために、一つひとつの学校を回っています。それにいっしょについて行って、じゅぎょうをさんかんして、かいぜんできるところをアドバイスしています。たとえば、声を大きくとか、こういうふうにするほうがわかりやすいとか。じっしゅう生はしんけん!!

協力隊の活動!!

運動会がおわって、じゅぎょうをバリバリがんばっているところでしょうか??みんなが運動会のれんしゅうを一生けんめいがんばっている間、先生もそろそろ協力隊としての活動がはじまっています。

何をやるかという、算数がにがてな先生たちといっしょに、算数の正しいちしきをべんきょうしたり、どうやって教えたらいいかを考えたりしていました。「いっしょに」なんです。ときには正しいちしきを教えますが、きほんてきには、「いっしょに」考えます。

③小学校の先生とのけんしゅう



マタガルパの先生たちの中にはちゃんとめんきよを持ってなくてはたらいっている人たちがいます。そこで、毎週土よう日にけんしゅうがあります。それを教える先生におねがいして、じゅぎょうにさんかさせてもらって、わかりにくいところを少しせつめいしています。先生たちは月から金まではたらい、土よう日はべんきょうするんです!!すごい!!



④日本しょうかい



はいぞく先の学校の先生に、日本の家族、食事、町のようす、雪などのしゃしんを見せながら、小学校しょうかいは、元3-1のみんながべんきょうしているようすをビデオで見せながら、日本しょうかいと、小学校のしょうかいをしました!!

元3-1のみんなは世界デビューですよ(^o^)

先生たちはきょうみしんしん。「ひろしまとながさきはどこ?」「はしをつかって食べている。」「みんなきょうかしよとノートをもっているのか?」「みんなちゃんとすわっている!」つたえたかったことは、じゅぎょうのやり方。みんな考えながらすすめて、しっかり話を聞くことがたいせつなんですよね。



②ほうかごのほしゅう

算数のじゅぎょうは今はないですが、ほうかごに子どもたちに正しい算数のちしきをつけてもらおうとほしゅうをしています。せいとたちは計算がにがてだったり、知らないことがあったりします。

1年生の子ども。みんなと同じで一生けんめいノートを書きます。

